

| 科目コード | ナンバリング | 単位数 | 学期 | 授業区分 | 科目区分 | 履修区分 | 配当学年 |
|---------|-----------------|-----|----|---|------|------|------|
| 150002 | X-01-A-2-150002 | | | | | | |
| 授業科目 | 担当教員 | | | | | | |
| キャリア開発2 | 申 銀珠 | 1 | 前期 | 【1・2年次生】国際学部国際文化学科 【3年次生以上】国際学部国際文化学科 【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース 【1・3年次生】経営情報学部経営学科 【1・3年次生】経営情報学部情報システム学科 【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース 【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース | 基礎 | 選択 | 3年 |
| | | | | 【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース | 基礎 | 選択 | 3年 |

授業目的

- 自己理解の視点を磨き、持っている能力、獲得したい能力や自身の特徴を知り、成長に役立てる。
- 日本の雇用に関する法律、制度などの基礎知識を習得し、進路選択に活かす。
- 就職活動・採用選考に関する知識を獲得すると共に、グループワークの実施や採用担当者の話を踏まえ、就職活動の準備に繋げる。

各回の授業内容

| | | |
|-----|---|---|
| 第1回 | 【授】 学生生活からその先へ（斎藤幸江） キャリア開発1のポイントのまとめ、学生である自分が社会に出ていくというプロセスを意識して「今」を捉え、将来に繋がる目標、計画を考える。 【前・後】前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。予習復習に4時間 | 第9回 【授】 効果的な情報収集（斎藤幸江） 進路選択や自己理解に向けた情報収集の留意点、各方法別の特徴を理解し、自らの情報収集の計画に役立てる。 【前・後】前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。予習復習に4時間 |
| 第2回 | 【授】 就職活動と就職・採用（斎藤幸江） 一般的な就職活動・新卒採用の流れを理解する。また、新卒人材への期待とそこで求められるものを知り、その評価としての選考にどう対策すべきかを考える。 【前・後】前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。予習復習に4時間 | 第10回 【授】 自分を表現する 1（斎藤幸江） 文章表現など、構成、表現のポイントを理解し、相手に伝わるトーク、文章の作成に活かす。 【前・後】前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。予習復習に4時間 |
| 第3回 | 【授】 インターンシップマナー講座（マナーズ山田） インターンシップをはじかに控え、社会人とコミュニケーションの取り方の基本を学ぶ。 【前・後】前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。予習復習に4時間 | 第11回 【授】 世の中の仕事を知る（広報しえん） 働くとは？県内にどんな企業があるか。どんな仕事があるか。それを知るにはどのような方法があるか。個人ワークを中心に周囲との相談を含め様々な仕事（職種）・業種がある事を認識させる 【前・後】前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。予習復習に4時間 |
| 第4回 | 【授】 業界研究＆インターンシップ説明会（広報しえん） 県内企業3社を招聘し、各社の特色や求める人物像など幅広い視点から学び、今後の業界研究や職業選択の「軸」を考える。 【前・後】前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。予習復習に4時間 | 第12回 【授】 映像で学ぶ就職活動スタートアップ講座（マイナビ） むびげーションを使用し、就職活動に向けて今後の準備を映像と解説を通して明確な考え方を構築し、行動できるようにする。 【前・後】前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。予習復習に4時間 |
| 第5回 | 【授】 就職・雇用に関する基礎知識（斎藤幸江） 社員の種類、業種、職種、企業情報に関する用語、入社から退職までの流れ、労働法や制度などを学び、進路選択に活かす。 【前・後】前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。予習復習に4時間 | 第13回 【授】 自分を表現する 2（斎藤幸江） 話すというコミュニケーションにおける伝わるポイントを理解し、話し合いの中で活かす。また、他の学生との比較から、自身の特徴をつかむ。（レポート課題を発表） 【前・後】前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。予習復習に4時間 |
| 第6回 | 【授】 労働者の義務と権利、賃金の仕組み（斎藤幸江） 義務と権利という視点で、就職後に守るべきこと、守られるべきことを理解する。賃金の構成、仕組みについて学ぶとともに、実際に初任給をもとに収支の試算を行う。 【前・後】前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。予習復習に4時間 | 第14回 【授】 講演：「新潟県の産業・職業を知ろう」（キャリア支援課） 新潟県産業労働観光部産業政策課兼観光局観光企画課 企画主幹高橋徹臣氏を招き新潟県の財務状況、産業業界など幅広い分野の内容で、卒業後の進路について選択肢の考え方等を学ぶ。（レポート提出） 【前・後】前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。予習復習に4時間 |
| 第7回 | 【授】 ワークライフバランス、さまざまな職場（斎藤幸江） 基礎知識を理解するとともに、企業の事例やトレンドを踏まえて、将来、どのようなバランスで働きたいかについて、考える。 【前・後】前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。予習復習に4時間 | 第15回 【授】 レポート提出（13回目（7月23日）の授業時にレポート課題を発表。14回目（7月30日）の授業時にレポート提出）。 |
| 第8回 | 【授】 自己理解を深める講座「自分史から未来を拓く」（リクルートキャリア） これまでの自分を振り返り、モチベーションのバイオリズムを作成し客観的に自己理解を深める。自分の新しい強みを探求し学生生活で様々なことに挑戦するモチベーションの上げ方を学ぶ。 【前・後】前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。予習復習に4時間 | 第16回 【授】 （なし） |

成績評価方法

毎回の講義内容に関連する小レポートの提出状況、およびその内容によって評価（50%程度）する。

また、授業参加/態度についても 50%程度で評価する。

小レポートの全体評価について後日公表する。

教科書・参考書

- キャリア開発1、2の共通テキストとして、「キャリアデザインの教科書」（北浦正行編著 労働調査会）を用いる。

受講に当たっての留意事項

- 毎回のミニツッペーパーの内容、出席が評価対象となる。
- ミニツッペーパーに関しては、授業内容の理解、そして発展（我がこととして捉えているか）、表現（日本語の正しさを含む）が評価基準。

| | | |
|--------------------|----------------|--------------------------------------|
| 実務経験のある教員による授業科目有無 | 実務経験と授業科目との関連性 | アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表 等）の実施 |
| x | | ○ |

学習到達目標

- 「就職」「就職活動」を取り巻く仕組みやルール、用語などの基礎的な知識を身につけ、実際の就職活動において主体的に情報収集できる
- 自分自身に対する理解と社会に対する理解がバランスよくなされ、志望業界や志望職種などを想定することができる。
- 企業の採用ニーズを踏まえて、自らの感じる「やりがい」や目指す「方向性」、これまでに培われてきた「強み」などを明確に把握できており、選考場面を想定したコミュニケーションのポイントを自己で把握できている。

JABEE

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習